



梅雨明け直後はハダニ類・シンクイムシ類等の最重防除期です。

今回の薬剤散布は、梅雨明け直後にハダニ類等の密度を下げることを目的です。ハダニ類の被害が目立つ場合は、薬剤散布を予定より早める等の対策を講じてください。併せて、薬剤の効果を高めるため、散布前に徒長枝切り等を行い、園全体に薬液が到達するようにしてください。

◆ 西洋梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

🌿 7月中下旬の薬剤散布（前回から15日後）

散布時期	7月20日～25日 *注意事項①参照	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水 1000 当り 展着剤 10ml キノンドーフロアブル 100ml（3日前、9回） *注意事項②、③参照 ダニゲッターフロアブル 50ml（前日、1回） (劇)オリオン水和剤40 100g（3日前、2回） *注意事項④参照	◆ 散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：600リットル以上	
注意事項	① ダニゲッターフロアブルは開花期の水稻に飛散すると、不稔等の薬害を生じる場合があるので注意する。 ② キノンドーフロアブルに代えてオキシラン水和剤500倍（3日前、9回）でも良い。 <u>有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で9回以内であるので注意すること。</u> ③ キノンドーフロアブルを使用する際は、容器の口を下に向けて横に回しながら上下に振り、容器内でよく溶かしてからSS等のタンクへ投入すること。 ④ オリオン水和剤40は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑤ 葉やけ防止のため、高温時の散布はしない。また、降雨が心配される場合は散布を見合わせる。また、葉やけの起きやすい条件は、①薬剤散布直後の雨、②急激な高温、乾燥とその後の多雨等です。 ⑥ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。	

（参考）8月中旬の 薬剤散布予定：8/10～20頃（前回より20日後）

🌿 ナシ類の7月下旬の重点管理作業

- 西洋梨の腐らん病対策
 - 梅雨期間に感染が広がっています。早めの抑制処理の実施をしてください。
 - 見つけしだい削り取り処理や切除し、傷口にトップジンMペーストを塗布する。
- 主枝・側枝誘引（次年度対策）
 - 次年度の花芽着生促進と側枝を太らせないために積極的に実施する。主枝候補を誘引する場合は、南水・オーロラ等は45度、ラ・フランスは30度を目安に誘引する。
- 土壌水分管理（5日以上降雨がない場合はかん水の実施を！）
 - 極端な土壌乾燥は果実肥大に大きく影響します。盛夏期は定期的にかん水を実施する。
 - 土壌乾燥防止のため、樹冠下に敷きワラやマルチ等を早めに実施する。
- 雑草管理

バスタ液剤200倍を使用する。（水1000に対し、バスタ液剤500ml）

和梨の定期散布は裏面をご覧ください。

◆ **和梨の定期防除**（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

● ハダニ類・シンクイムシ類等の被害が見られる場合は、前回からの散布間隔を10～12日程度に短縮して実施してください。

【有袋】 7月中下旬の薬剤散布（前回から15日後）

散布時期	7月20日～25日	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水	100ℓ
	展着剤	20ml
	ダニゲッターフロアブル	50ml（前日、1回） *注意事項参照②、③
	キノドーフロアブル	100ml（3日前、9回）
	劇 ダーズバンDF	33g（21日前、3回） *注意事項参照④
対象病害虫	黒斑病、輪紋病 ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ	
散布量	10アール当たり：450ℓ以上 *注意事項④参照	
注意事項	① 殺ダニ剤の効果を上げるため、今回の薬剤散布の3～4日前に下草除草を実施する。 ② 通常展着剤に代えて、機能性展着剤ササラの2,000倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。（殺ダニ剤との相乗効果も期待できる） ③ ダニゲッターフロアブルは開花期の水稲に飛散すると不稔等の薬害を生じる場合があるので注意する。 ④ ダーズバンDFは劇物登録薬剤です、購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑤ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。	

（参考）有袋8月上旬の薬剤散布予定：8/5～10頃（前回より15日後）

【無袋】 7月中下旬の薬剤散布（前回から15日後）

散布時期	7月20日～25日	◆ 散布日：7月 日
散布薬剤	水	100ℓ
	展着剤	20ml
	ダニゲッターフロアブル	50ml（前日、1回） *注意事項②、③参照
	劇 ダーズバンDF	33g（21日前、3回） *注意事項④参照
	ロボドーフロアブル	125g（14日前、5回） *注意事項⑤参照
対象病害虫	黒斑病 シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、ハダニ類	
散布量	10アール当たり：450ℓ以上	
注意事項	① 殺ダニ剤の効果を上げるため、今回の薬剤散布の3～4日前に下草除草を実施する。 ② 通常展着剤に代えて、機能性展着剤ササラの2,000倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。（殺ダニ剤との相乗効果も期待できる） ③ ダニゲッターフロアブルは開花期の水稲に飛散すると不稔等の薬害を生じる場合があるので注意する。 ④ ダーズバンDFは劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑤ ロボドーフロアブルに代えて、キノドーフロアブル1000倍（3日前、9回）でもよい。 ⑥ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。	

（参考）無袋8月上旬の薬剤散布予定：8/5～10頃（前回より15日後）